



C H I B A

第7回 ちばコラボ大賞

表彰事例の紹介

県内には、福祉や環境、子育て、まちづくりなどのさまざまな分野で、市民活動団体が地縁団体、企業や学校、行政機関等と連携して地域の課題解決に取り組むことで、成果を挙げている事例がたくさんあります。

県では、そのような連携事例の中から、他のモデルとなるような優れた事例を「ちばコラボ大賞（千葉県知事賞）」として表彰しています。

第7回目となる平成29年度は、県内各地から13件の応募があり、審査の結果、3件を表彰事例に決定しましたので御紹介します。



千葉県
マスコットキャラクター
「チーパくん」



表彰式

表彰式では、吉添環境生活部長から表彰事例の代表者に賞状が贈られたほか、チーバくんも加わり記念撮影が行われました。

吉添部長からは、「立場の異なる方々が連携することにより、新しい発想や活力が生まれ、地域の課題解決に向けた大きな相乗効果を生み出します。皆様方の一層の御活躍を祈念しております」とメッセージが送られました。

また、鎌田審査委員長からは、受賞団体に対する講評と、「応募のあった事例には、今後の発展が期待される取組が多くあり、さらにすばらしいコラボの事例になっていくことを期待します。」と激励の言葉をいただきました。



表彰事例の紹介

表彰事例

1

子育て応援メッセinふなばし 船橋市

- 子育て応援メッセinふなばし実行委員会
- NPO法人世界のともだち
- NPO法人船橋子ども劇場
- チームUKIUKI
- 船橋ワーキングマザーの会
- 千葉県小児歯科医会
- キッズコミュニティ凜童舎
- 親子カフェHedgehog the Rainbow
- 生活協同組合パルスシステム千葉
- ふなばし・ファミリー・サポート・センター
- 全国友の会市川友の会船橋方面
- NPO法人子ども劇場千葉県センター
- あそびの文化祭
- 高根台おもちゃ病院
- NPO法人マドレボニータ
- NPO法人ワーカーズコレクティブういずねこの手市川船橋
- ハッピー産GO!!
- 一般社団法人千葉県助産師会船橋地区部会
- 船橋市本町地区社会福祉協議会
- 船橋市湊町地区社会福祉協議会コミュニティ広場それいゆ
- 一般社団法人日本ベビーサイン協会
- こども人権ネットちば
- NPO法人アフタースクール
- つかだおはなし会
- ママさんダンス
- 船橋市栄養士会
- 一般社団法人船橋市医師会
- 生活クラブ虹の街ベイブロック
- 一般社団法人船橋薬剤師会
- 千葉県小児科医会
- 船橋市ボランティアセンター

目的

船橋市では、核家族率が高く、子育ての経験がほとんどない人が多いため、お母さんの育児の負担が高くなっています。また、子育てに関する情報も玉石混交といえる状況で、それぞれの子育てにあった知識や安心感を得られる場所の必要が高まっています。

そのような場や子育て支援の情報を家庭に届けるため、実行委員会を立ち上げ、「子育て応援メッセinふなばし」が開催されるようになりました。

事業内容

「子育て応援メッセinふなばし」では、子育てをしているすべての市民を対象に、講演、ワークショップ、相談・交流コーナー、情報展示ブースなどを通して触れ合いを楽しんでいます。連携している団体は30団体以上で、NPO法人、医師、栄養士などの専門家、地域の子育て団体や社会福祉協議会などと多く、すそ野の広さも目指しています。小さなことで不安を感じているお母さんたちと繋がる、ネットとは異なる、対面で「生の交流」が出来る取組です。

評価のポイント!

数多くの団体が連携をしているイベントで、子どもだけでなく、子育てに悩む大人が対象という点が評価されました。また15回も継続的に行っており、更なる発展も期待できます。



表彰事例

2

こども職業体験イベントin茂原 もばちやいる!

●茂原市認定市民活動団体もばちやいる運営委員会

●茂原ショッピングプラザ アスモ

茂原市

目的

茂原市では、企業や小売販売店など地域に密接した店舗を知ってもらうことで、近隣商業施設への流れを地域に戻すことを課題としています。そのような中でショッピングセンターのコンセプトである「地元の皆様の元気を応援します。」という理念と、もばちやいるの目的と方向性が合致していたことにより、NPOと企業とで連携が始まりました。

事業内容

このイベントでは、保護者から意見を聞き、子どもたちに密接した、街で生活するうえで関わりのある職業を、ショッピングセンター全館を使用し、約50種類の体験ができるようになっています。また、運営スタッフに保護者や市内中学生に部活動の一環として参加してもらうことで、多くの人と関わる事ができる取組にもなっています。

子どもたちが、「仕事」を実際に体験することで、地域の企業や小売販売店の事業を知ってもらうことや、子供たちの安全を地域で見守る社会づくりにも繋がっています。

評価のポイント!

地元企業・販売店や警察、消防など数多くの生活に関連する職業の体験ができるという、子どもたちに将来のキャリアデザインを考えさせるような内容が評価されました。



表彰事例

3

NICO-kama fes(ニコカマフェス)

鎌ケ谷市

●NICO-kama fes実行委員会

●株式会社セブン&アイ・クリエイトリンク ショッピングプラザ鎌ケ谷

●鎌ケ谷市

目的

子ども・子育てを取り巻く環境が大きく変化しており、子育て世代の孤立が課題となっている中で、「全国各地で行われている子育て応援イベントを地元でも実施したい」、「鎌ケ谷市であれば街で子育てを実現できるのではないか」という思いから実行委員会が結成されました。その後、企業、行政が連携し、「街で子育て」を目指し、「NICO-kama fes」を開催しました。

事業内容

NICO-kama fesは、鎌ケ谷市が共催として参加し市の子育て支援策のPRを図るとともに地元のショッピングモールが協賛することで、地域全体での子育て支援を応援する仕組みになっています。また、実行委員会は子育て中の母親で構成されているため、イベントの主な対象である子育て中の母親・父親と同じ目線でイベントを実施することができています。

地元でのイベント開催ということで、自分たちの街への愛着などを育てるきっかけや、出展者側・参加者側各が触れ合う機会を設けることで地域の活性化や、子育て世代同士の交流のきっかけづくりに繋がっています。

評価のポイント!

子育て中の親が集まり、地域の活性化や子育て世代同士の交流のきっかけをつくっている点が評価されました。





NPO案内犬
[PONちゃん]

第7回ちばコラボ大賞 表彰事例紹介リーフレット

平成30年3月 編集・発行

千葉県環境生活部県民生活・文化課

〒260-8667千葉県千葉市中央区市場町1-1

TEL 043-223-4133/FAX 043-221-5858

Email: npo-vo@mz.pref.chiba.lg.jp